



バーゼルワールド2014

パテック フィリップ ジュネーブ
2014年3月

パテック フィリップのバーゼルワールド2014ニューモデル：永続的な発展

2014年5月1日、パテック フィリップは創業175周年を迎える。もちろんマニュファクチュール パテック フィリップはこの重要な日を記念するため、世界を驚かせる発表を行うが、その期日は、今秋の公式セレモニーまで待たねばならない。しかしバーゼルワールド2014において現行コレクションのニューモデル、および《希少なハンドクラフト》の新たなタイムピースのいくつかがベールを脱ぐことはいうまでもない。パテック フィリップは1931年以来、バーゼルワールドに欠かさず出展しており、この世界最大の時計宝飾展から多大な恩恵を受けてきた。パテック フィリップのバーゼルワールド2014ニューモデルは、高級タイムピースの愛好家、コレクターを熱狂させるすべての要素を含んでいる。下記に紹介する4つのニューモデルは、パテック フィリップの伝統にふさわしい《永続的な発展》というタイトルを与えられている。これらのタイムピースは、パテック フィリップのコレクション中よく知られたモデルに洗練、改善、バリエーションを継続して加えていくという努力の成果なのである。新しい年次カレンダー搭載クロノグラフはスポーツ・エレガンスを代表するノーチラス、アクアノート以外では初めてのステンレススチール仕様のコンプリケーテッド・ウォッチである。2つの追い求められるコンプリケーション機能を組み合わせた、新しいステンレススチール仕様のノーチラス・トラベルタイム・クロノグラフは、ノーチラス・コレクションをさらに豊かなものにするであろう。また《希少なハンドクラフト》に属するTwenty-4[®]ハイジュエリー4909モデルは、最高のジェム・セッティング芸術を体現している。さらにカラトラバ・ハイジュエリー4895Rモデルは、漆黒の文字盤を備え、ドレープのように優美なケースには162個のピュア・トップウェッセルトン・バゲットカット・ダイヤモンドがセッティングされている。これらは、パテック フィリップ創業175周年記念タイムピースの登場を今秋に控え、バーゼルワールド2014において発表される数多くのニューモデルのうちの4つにすぎない。

上記4つのタイムピースをはじめとするパテック フィリップのバーゼルワールド2014ニューモデルは、マニュファクチュール パテック フィリップの価値を輝かしく象徴するスチールとガラス構造のまったく新しいパテック フィリップ・ブースにおいてご覧いただくことができる。光に溢れた3階建て、総床面積1,500 m²の新しいブースは、昨年までのものより50%もスペースが増している。16個の外壁ショーケースが設けられた総面積600 m²のガラス製ファサードは、パテック フィリップにおけるコミュニケーション哲学の中心をなす透明性と開放性を象徴している。バーゼルワールド2014によろこそ！

パテック フィリップ年次カレンダー搭載クロノグラフ5960/1A モデル： ステンレススチール・ケースとコンプリケーション機能の稀有な組み合わせ

パテック フィリップの新しい年次カレンダー搭載クロノグラフ5960/1A モデルは、スポーツ・エレガンスを代表するノーチラス、アクアノートを除けば、コンプリケーション・ムーブメントとステンレススチール仕様ケースを組み合わせた稀有なタイムピースのひとつである。このことは、5960/1A モデルのきわめて機能性に富んだ計測機器としての性格を物語っており、多くのディテールがこれを強化している。5960/1A モデルはまたパテック フィリップ独自のしなやかで強靱な《ドロップ・リンク》スチール・プレスレットを装着した初のステンレススチール・モデルでもある。文字盤もまたこのモデルの顕著な機能性を反映している。シルバーグレーをバックにブラック仕上げゴールド植字インデックスを配したハイコントラストな文字盤は、新しい3次元的な視覚効果を持ち、最高の視認性を実現している。



〈報道資料〉 ページ 2

1日の《1》がレッドで表示される日付表示、レッドに塗装されたクロノグラフ秒針と60分計指針などのスマートなディテールは、このタイムピースがパフォーマンスを計測するための機器であることを思い起こさせる。新しい5960/1Aモデル（《A》はスチールを意味するフランス語《Acier》の頭文字）は、2006年に発表されて以来、年次カレンダー搭載クロノグラフをベストセラーのひとつとしてきた現行のすべてのゴールドおよびプラチナ・モデルの後を継ぎ、これらに取って代わる。

しかし搭載されたメカニズムは従来通り、自動巻クロノグラフ・ムーブメント、キャリバーCH 28-520 IRM QA 24Hである。クラシックなコラムホイール制御、先進的なディスクによる垂直クラッチ、ハイテク素材Silinvar[®]によるSpiromax[®] 髭ぜんまいを備えたこのクロノグラフ・ムーブメントは、伝統的な時計製作技術と先端的な技術革新の融合を模範的に体現している。

パテック フィリップ・ノーチラス・トラベルタイム・クロノグラフ5990/1Aモデル： コンプリケーション機能の新しい組み合わせと象徴的なスタイリングによるコンテンポラリーなタイムピース

新しいステンレススチール仕様のノーチラス・トラベルタイム・クロノグラフ5990/1Aモデルは、コンプリケーション機能を備えたノーチラスのコレクションをさらに充実させるニューモデルである。異なる2つのタイムゾーンの時刻を同時に表示できるトラベルタイム機能とクロノグラフ機能という、最も追い求められる2つの機能を搭載し、さらに日常生活において有用なその他の機能も備えている。

船の舷窓からインスピレーションを得た、両サイドにヒンジ部を持つノーチラスのデザインは、この2つのコンプリケーション機能を搭載するのに理想的である。ケースの右側面にはクロノグラフ・プッシュボタンとリュウズ・プロテクター、左側面には現地時刻のみを1時間単位で前進・後退させることができる2つのプッシュボタンが配置されている。夜光付時針は現地時刻を表示し、スケルトン時針は出発地の時刻を表示し続ける。現地時刻、出発地時刻のそれぞれが独立した昼夜表示窓を備えている。著名な水平エンボス模様を配し、中央から周囲にかけて明暗のグラデーションをつけたブラック文字盤は新しくデザインされ、12時位置に現地の日付を指針表示し、6時位置にクロノグラフ60分計を備えている。文字盤の下には、すべての愛好家、コレクターを魅了するムーブメントが秘められている。パテック フィリップ完全自社開発・製造の新しい自動巻クロノグラフ・ムーブメント、キャリバーCH 28-520 C FUSである。重量感ある21金中央ローター、コラムホイール制御、ディスクによる垂直クラッチ、ジャイロマックス・テンプ、ハイテク素材Silinvar[®]による特許取得のSpiromax[®] 髭ぜんまいを備える。これらすべての機構をスポーツ・エレガンスを代表する、サファイヤクリスタル・バックを備えたステンレススチール仕様のノーチラス・ケースが保護し、12気圧防水を保証しているのである。

パテック フィリップTwenty~4[®]ハイジュエリー4909/110モデル《アクアティック・ライフ》： 最高のジュエリー・セッティング芸術を体現したハイジュエリー・タイムピース

新しい18金ホワイトゴールド仕様のTwenty~4[®]ハイジュエリー4909/110モデルは、最高のジュエリー・セッティング芸術と高級時計製作が完璧に融合した稀少なタイムピースである。このモデルには合計1,937個のピュア・トップウェット・ダイヤモンドと深みのあるブルーのサファイヤ（合計約43.73カラット）が用いられている。マニファクチュールパテック フィリップのマスター・ジュエラーによって製作された《アクアティック・ライフ》と名づけられたモチーフは、ブルー・サファイヤによるさまざまな大きさの魚が、ダイヤモンドの海の中を遊泳する様を描いている。バゲットカット・ダイヤモンドは《クロウ・セッティング》、およびきわめて高度な《インビジブル・セッティング》の



方法によりセッティングされている。サファイヤの《クロー・セッティング》と《グレイン・セッティング》の爪の部分、および指針とローマ数字に用いられているローズゴールドが、ケースとブレスレットのホワイトゴールド、そしてダイヤモンドの純粋な白さに対して温かみのあるコントラストを与えている。このえも言われぬ美しい舞台の奥には、精緻な仕上がりの手巻キャリバー16-250が収められており、サファイヤクリスタル・バックを通して鑑賞することができる。スチール歯車の歯は一枚一枚磨き上げられ、受け（ブリッジ）にはわずかに丸味を帯びた面取りが施され、表面には伝統的なコート・ド・ジュネーブ装飾が施されている。受けに施された金めっきによる刻印、赤い穴石（ルビー）、金色に輝く歯車の反映が、これらにさらなる豊かさと奥行きを与えている。

パテック フィリップ・カラトラバ・ハイジュエリー4895Rモデル： 永遠の女性像へのオマージュ

1932年に創作されたカラトラバは、クラシックなラウンド型腕時計の究極的表現として、その控え目なエレガンスが常に世の注目を集めてきた。このカラトラバのピュアで時を超越した美しさは、婦人用ハイジュエリー・タイムピースの創作に理想的なベースを提供することができる。それはダイヤモンドがいかに燦然たる輝きを与えても、タイムピースの本質的な機能である文字盤の視認性をいささかも損なうことがないからである。新しいカラトラバ・ハイジュエリー4895Rモデルは、162個のピュア・トップウェットトン・バゲットカット・ダイヤモンド（約5.62カラット）が、ローズゴールドのドレープのように優美なケースにセッティングされている。《クロー・セッティング》により強固に固定されたダイヤモンドは、文字盤の周囲を最大5重に取り巻いている。各々のダイヤモンドは、決められた場所に完璧に収まるよう、個別にカットされる。優美なダイヤモンドの流れとコントラストをなすのが、12回にわたり塗り重ねられた漆黒の文字盤、ポリッシュ仕上げのドフィース型時・分針、18金ローズゴールド植字インデックスである。この文字盤は魅力に溢れ、しかも最高の視認性を実現している。新しい4895Rモデルは、伝説的な手巻ムーブメント、キャリバー215を搭載している。今から65年前にパテック フィリップが特許を取得したジャイロマックス・テンプ、2005年に特許を取得したSpiromax[®] 髭ぜんまいを備えたキャリバー215の、伝統と革新の融合を体現した精緻な仕上がりをサファイヤクリスタル・バックを通して鑑賞することができる。

